

目的

以下を目的として、「期」を超えたRSSC生の交流の場を創る。

1. コロナ禍での繋がり強化
2. 新たな取り込み・活動の機会創出
3. RSSC修了後の生き方の分析

内容

1. 内容詳細

1) コロナ禍での繋がり強化

外出が制限され、会話する機会も減る中で、「オンライン」のメリットを利用して交流を深める。

2) 新たな取り込み・活動に機会創出

興味があるテーマのオンラインミーティングに参加して、情報を共有し、新しい取り組み及び活動を拡げるきっかけを創る。

3) RSSC修了後の生き方の分析

事前に次回のオンラインミーティングに向けたアンケートを配布し、集計した結果をもとにミーティングを行う。

アンケートの内容により、インタビューも実施し、RSSC生の生き方を探る。得られた情報は同窓会を通じて共有する。

2. 前提条件

1) 同窓会との連携

広報は、同窓会のHP及び、各期生会よりメールで案内することが前提。そのため、同窓会の協力を得る必要がある。

2) RSSC教員による支援

教員の理解を得て、ミーティングへの参加及び、後方支援が得られること。

3. 実施方法

1) ミーティングのテーマ

参加者、サポートセンタ各部、教員よりテーマを募り、参加者が多い場合は複数のグループに分かれてワークショップ形式で行う。

2) 実施サイクル

月1回(要検討)

3) 事務局の役割

①開催日時、テーマの検討

②アンケートの作成、集計、インタビューの実施(必要なら)

③参加者への案内

- ④ミーティングの進行
- ⑤振り返り
- ⑥アンケートの纏め、発信

期待される成果

- ・想定もしなかったパンデミックにより、外出が制限され、自宅に閉じこもる日々。オンラインで仲間と繋がれることで、体力の衰えにより外出が厳しくなった人達の参加も促し、交流の機会が増えることが期待される。
- ・リアルとオンラインの組み合わせにより、Withコロナの生活がより幅広いものになり、QOLを高められると思われる。
- ・参加者の状況を知ることで、RSSCを修了したシニアの生き方を探り、シニアの社会参加に向けた提案につなげる。

課題

- ・各期の期生会の協力を得るには時間がかかると思われる。
同窓会の協力が得られれば、実施可能な集まりで開始したい。
- ・RSSC生以外の参加について
RSSCから始めるが、希望者があればRSSCに限定せずに参加可とし、軌道に乗れば、広く外部の多世代のグループと連携したい。
- ・事務局の負担
さいちゃれだけでは負担が大きいと想定されるので、サポートセンタ等の賛同者と連携して実施することを検討する。

その他（前提条件、開始希望時期、費用等、特記事項があれば記入してください）

費用：無償を前提とする。
交流会なので、費用が発生する講師は考えない。
経費については要検討。

交流会のテーマ(案)

1 前提条件

- ① リタイア後のキャリア(生き方)について、社会への情報提供に寄与するテーマであること
- ② 参加者が自身のライフデザインを考え、再認識できるテーマであること
- ③ リタイア後の生き方について、多様なケースを共有し考えるテーマであること

2 背景

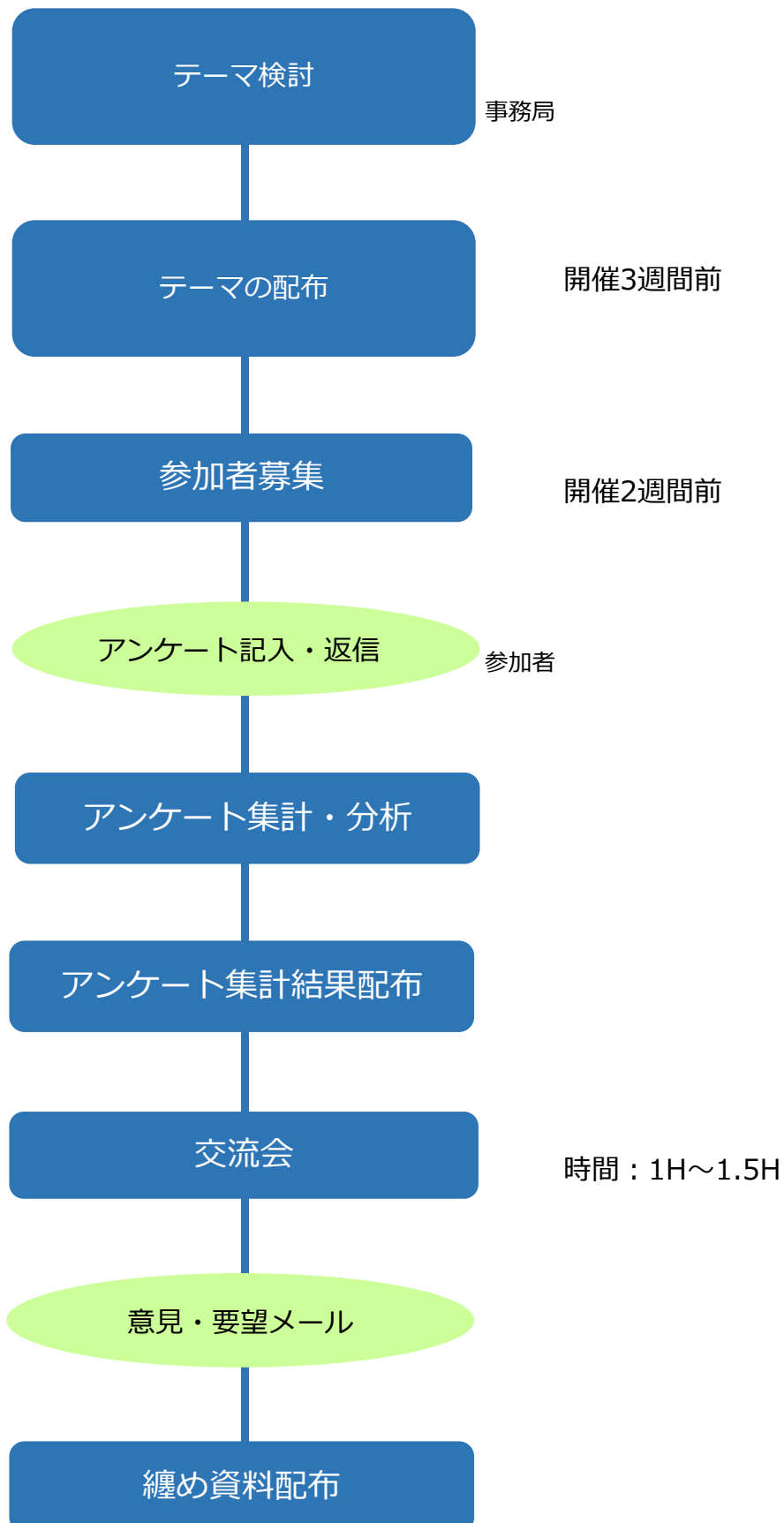
団塊世代が後期高齢者を向かえる中、長寿化したシニアは社会のコストになるのか？
それとも社会の担い手の一員として日本社会に寄与できるのか？
人生100年時代と言われる中、モデルのないシニアは自分の生き方を自分で決めなければいけない。

3 テーマ例

- 1) RSSC入力前には何をしたいと思っていたか
- 2) RSSC在学中にその予定(心づもり、希望)は変わったか
- 3) RSSC修了後、さらに変わったか
- 4) パンデミックを経験して、日々の生活の変化は？
- 5) パンデミックを経験して、考え方の変化は？
- 6) パンデミックを経験して、今、何をしたいか？
- 7) リタイア前にすべきこと(現役世代に向けて)
- 8) リタイア後のライフスタイルのキーワードは
- 9) リタイア後のビジネスモデルとは
- 10) リタイア後に求められる生き方とは
- 11) 仕事(活動)の成果を高める要因とは
- 12) 「不安な個人、立ちすくむ国家」その後とは？
- 13) 「LIFE SHIFT (100年時代の人生戦略)」について
- 14) N年後の自分
- 15) 誰にとってどんな存在として生きたいか
- 16) 現役世代とどのように関わりたいか、その場合の課題は？
- 17) 現代の若い世代はどのように思うか
- 18)
- 19)
- 20)
- 21)
- 22)
- 23)
- 24)
- 25)

課題

交流会の進め方(案)



2019/3/15開催 女性のためのライフデザインセミナー 参加者の感想

- ・セミナー主催者の心遣いを感じました。内容については、今後の参考になるとても良いセミナーでした。もう少し時間があると良いなと思いました。
- ・長時間と思いましたが、充実して皆さんの楽しい意見をお伺いすることが出来ました。もともと力がある皆さんの集まりで、とてもスムーズで 感想の一文字漢字は「快」でした。
- ・期待以上に得たものが多いセミナーでした。自他の出会いが出来て、講師の先生、スタッフの皆様に感謝です。
- ・自分の気づきが出来ました。感謝致します。元気・勇気を頂きました。日々の生活に追われていますので、改めて自分を見直す時間となりました。次回も参加したいと思います。
- ・長時間のセミナーでしたが、プログラムが充実していて、あっという間の時間でした。自分の人生も振り返れたし、他の方とも親しく話せました。有難うございました。
- ・時間や費用もとても良かったです。自分一人で考えることはあっても言葉にすることで、他の人から質問や感想を貰い、違う角度からの見方であったり、自信につながったりと有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・岡田先生のセミナーの進め方に感心しました。なかなか窮屈なことが多いセミナーですが、同じ机の皆さんと心から語り合うことが出来ました。有難うございました。
- ・今日の方々のレベルが高かったためと思いますが、初級レベルだと思いました。
- ・全体を通してお気遣いが行き届いていて、とても豊かな時間を過ごさせて頂きました。有難うございました。チームの方々とも心を開いて話すことができ、有意義なワークでした。
- ・いろいろな人のお話し、意見を聞かせて頂き、今後の活力になりました。
- ・今日は、グループ内でのワークでしたが、他のグループとの共有がもう少しあれば良かったと思います。
- ・グループ内のメンバーがとてもスキルの高い人達で、討論が楽しかったです。岡田先生の声と話し方がとてもわかりやすく聞きやすかったです。
- ・他の人の多様な意見が聞けて良かった。自分的には既知の内容が多く、気づくより、再確認の意味合いが強かったのですが、楽しい時間でした。有難うございます。
- ・時間が短く感じられ、緊張感もなくとても良い雰囲気を進める事が出来たと思います。
- ・ワークショップはどのような感じなのかが体験できて良かったです。教員としての感想になりますが、ワークショップと大学で提供する学修機会(講義・セミナーなど)はどのような補完関係を作る可能性があるのかが気になります。これから考えてみたいと思います。
- ・スタートからワクワクしていました。ぜひ2回目。3回目と続けてください。岡田先生は素敵です。立ち振る舞い、言葉使い、などとても勉強になりました。